■中四国地域「bikebiz(バイクビズ)」取り組み紹介

タイトル	～自転車利用促進アプリを活用したCO_2削減県民運動～				
体名	サイクール・ライフプロジェクトチーム （事務局：山口県環境生活部環境政策課）				
分野	**エネルギー・地球温暖化対策**	健康・レジャー	観光・交流	安全・快適ハード事業	安全・快適ソフト事業
対象地域	山口県				
URL	http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15500/buchieco/cycoole.html				
団体の概要	所在地：山口県滝町１－１ 代表者：山口大学大学院創成科学研究科 准教授　鈴木　春菜 				
目的・ねらい	通勤や買い物時などの身近な交通手段としてCO_2等を排出しない自転車の選択・利用の推進方策を検討するとともに、CO_2排出削減効果の検証を行います。				
概要	山口県の家庭から排出されるCO_2は、自動車による割合が 39.2%であり、もっとも多いです。また、山口市は、県庁所在地・政令指定都市における１世帯あたりの年間ガソリン購入量が全国で最も多くなっています。 このため、通勤や買い物時の身近な交通手段を自転車等に転換することが地球温暖化対策に効果が高いと考え、平成 30 年度からサイクール・ライフプロジェクトに取り組んでいます。 具体的には、<u>スマートフォンの GPS 機能を用い、自転車での移動距離を自動計測し、CO_2削減効果をリアルタイムで「見える化」するアプリを構築・運用しています。</u>				
体制	構成メンバー：https://cycoole.com/about_cycoole.html				
これまでの成果	H30.7.20 サイクール・ライフアプリの運用開始 H30.7.20～8.31　スタートダッシュキャンペーンの実施 H30.9.21～10.31　電子スタンプラリーの実施 アプリ利用者：1,119 人（H30.10.5 現在） CO_2削減量：約７ｔ-CO_2（H30.10.5 現在）　※ガソリン 3,000ℓ相当				
今後の課題と展望	アプリなどを通じて、身近な交通手段として自転車を選択していただけるよう、更なる普及・啓発が必要と考えています。				
団体からのメッセージ	<u>「サイクール」は、自転車を意味する「サイクル」とカッコいい・賢いを意味する「クール」を合わせた、オリジナルの造語です。最高（サイ）にカッコいい（クール）自転車通勤・買い物ライフに取り組んでみませんか？</u>				

タイトル	～香川県サイクリング誘客促進事業～				
団体名	香川県交流推進部観光振興課				
分野	エネルギー・ 地球温暖化対策	健康・ レジャー	観光・交流	安全・快適 ハード事業	安全・快適 ソフト事業
対象地域	香　川　県　全　域				
URL	https://www.my-kagawa.jp/pamphlet				
団体の概要	●団体名　香川県 所在地：　香川県高松市番町四丁目１番１０号 代表者：　香川県知事　浜田　恵造 ●団体名　公益社団法人　香川県観光協会 所在地：　香川県高松市番町四丁目一番１０号 代表者：　会長　三矢　昌洋				
目的・ねらい	県内全域にサイクリングルートを設定し、サイクリングマップによる情報発信やサイクルオアシスの整備等の受入環境の整備を行い、国内外からサイクリストを誘致し、交流人口の拡大を図ることを目的としています。				
取組概要	平成２９年度 ●小豆島一周サイクリングルートを設定 ●小豆島一周サイクリングマップ作成（日本語、英語、中国語（繁体字：台湾語、香港）、韓国語） ●サイクルオアシス整備（サイクルスタンド、空気入れ等設置） ●ハード整備（路面標示（ブルーライン）、注意喚起看板等） ●香川県観光協会 HP「うどん県旅ネット」にて情報発信 平成３０年度 ●香川県基幹ルートを設定 ●香川県基幹ルートサイクリングマップ作成（日本語、英語、中国語（繁体字：台湾語、香港）、韓国語） ●サイクルオアシス整備（サイクルスタンド、空気入れ等設置） ●基幹ルートに接続する地域ルート４ルートを設定				
実施体制	香川県交流推進部　観光振興課　観光地・おもてなしグループ				
これまでの成果	●多言語マップ作成 ●観光協会 HP への掲載・情報発信 ●小豆島ルートのソフト（サイクルオアシス設置、のぼり）・ハード整備 ●基幹ルートのソフト（サイクルオアシス設置、のぼり）整備 ●サイクルイベント等での PR				
今後の課題と展望	●地域ルートサイクリングマップの作成 ●サイクルオアシス等ソフト整備 ●ハード整備（路面標示（ブルーライン）、注意喚起看板等） ●国内外へのプロモーション活動				
団体からのメッセージ	本県には、小豆島や荘内半島、五色台周辺、屋島から庵治半島など、風光明媚で穏やかな瀬戸内海と点在する島々を見ながら疾走することができる海岸線のサイクリングルートや内陸部には琴平や栗林公園等々の観光地や四国 88 箇所巡りやうどん店巡りと結び付けたサイクリングも楽しめる、基幹ルートと接続する地域ルートを複数設定しています。国内外から多くのサイクリストに本県を訪れていただき、それぞれの楽しみ方で讃岐路を走破してもらいたいと思います。				

■中四国地域「bikebiz(バイクビズ)」取り組み紹介

タイトル	～「ぐるっと高知サイクリングロード」で大自然を満喫～				
団体名	高知県、公益財団法人 高知県観光コンベンション協会				
分野	エネルギー・地球温暖化対策	健康・レジャー	観光・交流	安全・快適ハード事業	安全・快適ソフト事業
対象地域	高知県全域				
URL	https://kochi-cycling.com/（ぐるっと高知サイクリングロード）				
団体の概要	●団体名　高知県 所在地　高知県高知市丸ノ内１丁目７番 52 号 代表者　高知県知事　尾﨑正直 ●団体名　公益財団法人 高知県観光コンベンション協会 所在地　高知県高知市丸ノ内１丁目２番 20 号高知県庁本庁舎５階 代表者　会長　岩城孝章 				
目的・ねらい	高知県の雄大な自然環境をサイクリングで楽しんでいただくことで交流人口の増加を図るとともに、県民にスポーツ参加の裾野拡大と健康促進にもつなげることを目的としています。				
概要	黒潮躍る太平洋や美しい清流、豊かな森林など、大自然の魅力があふれるのが高知県です。その魅力を生かし、県内全域に初級から上級まで 43 のサイクリングコースを設定しています。				
体制	高知県文化生活スポーツ部スポーツ課（スポーツツーリズムチーム） （公財）高知県観光コンベンション協会スポーツ部				
これまでの成果	●県推奨コース『ぐるっと高知サイクリングロード』を策定 ※中・上級者 15 コース、観光・ファミリーコース 28 コース。 ●上記推奨コースのＭＡＰ作成（日本語、英語、繁体語） ●同、プロモーション動画作成 ●オランダ女子自転車代表チームの招請（強化合宿） ●イタリア大使・スロベニア大使の受入（サイクリング招請） ●受入道路環境整備（ブルーライン、ピクトグラムの設置）				
今後の課題と展望	●国内外へのプロモーション ●ソフト、ハード面の整備 ●交通機関等との連携				
団体からのメッセージ	日本一の水質を誇る仁淀川や日本最後の清流と言われている四万十川、天狗高原やＵＦＯライン、そしてダイナミックに広がる太平洋と高知県には海、山、川と魅力たっぷりの自然の宝庫です。是非、高知県にお越しいただきその魅力を存分に味わっていただきたいと思います。				

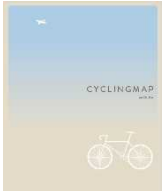
タイトル	～100ZERO のまち　島根県益田市～
団体名	島根県益田市
分野	エネルギー・地球温暖化対策 / 健康・レジャー / 観光・交流 / 安全・快適ハード事業 / 安全・快適ソフト事業
対象地域	島根県益田市
URL	https://www.city.masuda.lg.jp/soshiki/187/
団体の概要	所在地：　島根県益田市常盤町１番１号 代表者：　益田市長　山本浩章
目的・ねらい	東京 2020 大会のアイルランド自転車競技チーム事前キャンプ誘致を契機とし、市内の恵まれた自転車環境を活かした『自転車によるまちづくり』を推進。
取組概要	益田市の恵まれた自転車環境 〇東京から飛行機でわずか 90 分！ ・羽田空港から萩・石見空港まで１日２往復運航(ANA)。 ・空港から市内までわずか 10 分。 〇恵まれたロード環境 ・日本海沿いを走る直線、起伏に富んだ山々、清流高津川の川沿い。 ・信号が少なく、国道以外は比較的交通量も少ない。 (100ZERO：100km 走っても信号で止まる回数がゼロ) 〇既存自転車イベントを通じた自転車環境の認知度向上 ・地元 NPO が毎年開催する自転車イベント「益田 INAKA ライド」では、地元住民がエイドステーション等で参加選手のおもてなし、沿道で応援。 自転車によるまちづくり 【機運醸成事業】 ・市民が気軽に参加できるサイクリングイベントや自転車体験教室、講演会等の開催 園児向けｽﾄﾗｲﾀﾞｰ教室

<table>
<tr>
<td></td>
<td>

市民向けｻｲｸﾘﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ　　海外選手による自転車教室　　ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ競技ﾊﾝﾄﾞﾊﾞｲｸ体験教室

【受け入れ環境の整備】
・萩石見空港サイクルステーションの設置（更衣室・組み立てスペース等設置）

・企業版ふるさと納税を活用したサイクリストおもてなし事業



道路案内サインの設置　　サイクルスタンド製作　　サイクリングマップ作成
・サイクリスト誘客協力宣言企業登録の推進（現在 65 事業所が登録）
　サイクリストを歓迎する市内企業が会社のトイレや休憩できるスペース等を提供。
・一般社団法人自転車協会モデル事業を活用したインフルエンサーによる情報発信
</td>
</tr>
<tr>
<td>これまでの成果</td>
<td>
・東京 2020 大会に向けたアイルランド自転車競技チームの事前キャンプ地に決定！
・官民連携によるサイクリスト誘客に向けた取組
・国内最高峰のロード・レース大会「第 87 回全日本自転車競技大会ロード・レース」の開催
・市内企業によるサイクリストに配慮したホテルを建設中(H31 年 4 月ｵｰﾌﾟﾝ)
</td>
</tr>
<tr>
<td>今後の課題と展望</td>
<td>
・益田市自転車活用推進計画(仮称)の策定
・市民に自転車に親しみを持ってもらう取り組みの推進
・夢と希望を持つ子どもたちの育成に関する取組
</td>
</tr>
<tr>
<td>団体からのメッセージ</td>
<td>ぜひ『100ZERO のまち　島根県益田市」に自転車を走りに来てください♪</td>
</tr>
</table>

■中四国地域以外「bikebiz(バイクビズ)」取り組み紹介

タイトル	～岡山市コミュニティサイクル ももちゃり～				
団体名	岡山市				
分野	エネルギー・地球温暖化対策	健康・レジャー	観光・交流	安全・快適ハード事業	安全・快適ソフト事業
対象地域	岡山市				
URL	http://momochari.jp/				
団体の概要	所在地：岡山市 岡山市北区大供一丁目１番１号 代表者：岡山市長　大森　雅夫				
目的・ねらい	公共交通利用の促進 まちの賑わいの創出 岡山県のイメージアップ				
概　要	平成 25 年 7 月から、岡山市コミュニティサイクル「ももちゃり」を実施。 岡山市内中心部、自転車を貸し借りできるポート 17 カ所、自転車 140 台でスタートし、現在は 34 ポート、412 台に拡大して運用中。 ポートは、岡山駅を中心として、後楽園や岡山城などの観光地、多くの方々が利用する市役所等の公共施設、県外者が多くイメージアップに繋がる岡山大学等のわかりやすい場所に集中的に設置している。				
体　制	運営は、公募により選定された事業者が行っている。				
これまでの成果	1 台の自転車が 1 日に使われる回数（回転率）が 3.85 回（平成 29 年度）となっており、導入当初の目標値 1.00 回を大幅に超え、日本最高レベルを維持している。				
今後の課題と展望	自転車の再配置にコストがかかることで、事業が支出超過になっていることが課題。 市民や観光客など多くの方々に利用され、公共交通利用の促進やまちの賑わいの創出などに一定の効果があることから、今後も事業を継続していく。 今後は、利用の少ない平日の日中の時間帯の利用を増やす工夫をするなどして、収支バランスの改善に努め、持続可能な事業としていきたい。				
団体からのメッセージ	当初はお金を払って自転車を借りていただけるのか不安もあったが、今では、岡山市内中心部で「ももちゃり」を見かけない日はなく、とても嬉しく感じている。 今後も、岡山市民や、岡山市を訪れる皆様に愛される「ももちゃり」として事業を継続していく。				

■中四国地域「bikebiz(バイクビズ)」取り組み紹介

タイトル	～サイクリングの普及で自転車を利用しやすい環境を充実させる～				
団体名	とっとりサイクルツーリズムの会（ＴＣＴ）				
分　野	エネルギー・ 地球温暖化対策	健康・ レジャー	観光・交流	安全・快適 ハード事業	安全・快適 ソフト事業
対象地域	鳥取県東部エリア（鳥取市・岩美町八東町・若桜町・智頭町）				
URL	http://tottoricycletouris.wixsite.com/tct-association Facebook　https://www.facebook.com/tottoricycle.tourism/				
団体の概要	所在地：鳥取市 代表者：代表　山下 眞里 				
目的・ねらい	県東部地区において身近なレクリエーションとしてのサイクリングの普及・促進を通じて、気軽に自転車を利用する機運を醸成するとともに、「自転車が走りやすい、走ってみたいまち」を実現させることにより地域の活性化につなげることを目的としています。				
概　要	① 自転車を活用したイベント活動 （サイクリングイベント企画・実施） ② 自転車を利用しやすい環境の充実のための活動 （県「自転車活用推進計画」のアドバイザー） ③ 自転車の安全運転に関する啓発活動 （自転車(安全)教室企画・実施） ④ その他目的を実現するために必要な活動 （サイクリングコースの開拓とマップ作成）				
体　制	役員として、会長１名、副会長１名、事務局（会計・事務）１名、 監事（会計・事務監査）１名				
これまでの成果	・おはようサイクリング開催（４月～10 月毎週土曜　今年は隔週） ・各種サイクリング実施（ミニヒルクライムサイクリング、サイクルピクニック、自転車(安全)教室　等） ・サイクリングマップ製作・配布 ・市・県主催、後援のサイクルイベント（鳥取すごい！ライド、ジオサイクリング等）運営協力				
今後の課題と展望	自転車のブームにより各種イベント参加者は一定人数ありますが、初心者やライトユーザーの増加がなく、今後どの様なイベントをしていくか、又周知していくかが課題です。				
団体からのメッセージ	「とっとりサイクルツーリズムの会」は鳥取県東部地区でサイクリングの普及を通じ、民間と行政の協働で自転車を利用しやすい環境を充実させ、利用者の増加を図っていけるよう取り組んでいます。 現在、**活動賛同者を募集中です。自転車の走り方は色々、様々な魅力があります。まずは乗ってみて自分に合ったバイシクルライフを見つけてみましょう。**				

■中四国地域「bikebiz(バイクビズ)」取り組み紹介

タイトル	～インセンティブを効果的に活用し、自転車通勤への切り替えを促進～				
団体名	安田金属株式会社				
分野	**エネルギー・地球温暖化対策**	健康・レジャー	観光・交流	安全・快適ハード事業	安全・快適ソフト事業
対象地域	安田金属㈱ 本社				
URL	http://www.yasudaeco.co.jp				
団体の概要	所在地：広島県廿日市市木材港北４番 60 号 代表者：代表取締役　安田秀吉 				
目的・ねらい	通勤に伴うCO_2削減、駐車スペースの確保				
概要	当時賃借をしていた駐車場をお返しすることになり、社員通勤用の駐車スペースが不足気味になりました。そこで、隣接する施設の設備改善工事時に付属して、それまで露天駐輪だった自転車･バイク駐輪場を屋根つきのものに新築することにしました。（平成 22 年１月） 当社が加入している「ウエストグリーンネット」様よりバイクビズのご案内を頂いたことを契機に、バイクビズ通勤奨励制度をスタートさせました。 当社が準工業地域に所在し、公共交通機関から離れていることも加味し、自転車のみならずバイクでの通勤も､自家用車よりCO_2排出量が少ないことから奨励制度の対象としました。				
体制	平成 22 年に奨励制度を導入。　翌 23 年も奨励制度を更新。 いずれも奨励一時金（インセンティブ）を該当社員に支給。				
これまでの成果	インセンティブ導入時は、５名程度自家用車からバイク・自転車通勤への切り替えが発生しました。現在は本社通勤 66 名中、13 名がバイクまたは自転車通勤をしています。（13 名中９名が自転車を利用）				
今後の課題と展望	本社の立地条件の割には、自転車・バイク通勤の人が多く、家庭環境の変化（例：子供の送迎）などが発生すると自家用車の利用を認めざるをえず、現時点では本人の自主性に任せています。				
団体からのメッセージ	総合リサイクル業の会社に勤務をしていることから、一般的な企業に勤めている方より環境に対する意識は高いと思います。 例：①資源ゴミは本当の廃棄物ではなく、再生できる資源であることを日々の業務を通じて実感している点 ②家庭やｵﾌｨｽから発生する廃棄品が再生資源処理フロー上、どの品目にあたりどの施設で処理できるか商品知識がある点など 私達の仕事の一つ一つが環境負荷の低減に貢献をしていることに、社員一同、誇りを持って日々の業務に取り組んでいます。				

■中四国地域以外「bikebiz(バイクビズ)」取り組み紹介

タイトル	～サスティナブルな自転車づくりと活用～				
団体名	一般社団法人 Spedagi Japan（スペダギ ジャパン）				
分野	エネルギー・ 地球温暖化対策	健康・ レジャー	観光・交流	安全・快適 ハード事業	安全・快適 ソフト事業
対象地域	山口、八王子：奥多摩地区				
URL	http://spedagijapan.com				
団体の概要	所在地：山口県山口市阿東徳佐中 3656-1 会　長：明日香　健輔				
目的・ねらい	地域でのサスティナブルなモノづくり、コトづくり				
概要	（1） インドネシアで行われている、地域資源を生かしたデザインによって衰退しつつある村を元気にする運動である Spedagi（スペダギ）と連携し、過疎化に悩む日本でのモノづくり、コトづくりに取り組んでいます。 （2） 山口の阿東にある廃校を利用した阿東文庫内に Spedagi Ato プロジェクトの拠点を設け、インドネシアでデザイン・開発されたバンブーバイクに倣って、阿東の竹をフレーム材とした竹の自転車の開発を行っています。 また、バンブーバンクによる自転車の組み立て体験と阿東サイクルツアー（インバウンド向けの廃校を巡るツアー・地域での小商いを巡るツアーを行っています。） （3） 八王子・奥多摩地区の Spedagi Tokyo では、竹を使った子供向けのキッズバイクを開発中です。				
体制	Spedagi Japan 統括のもと Spedagi Ato プロジェクトと Spedagi Tokyo プロジェクトを進行中				
これまでの成果	Spedagi Ato では、山口情報芸術センター「ＹＣＡＭ」と連携して「世界の村デザイン会議」を開催。 竹の自転車を試作し阿東の地区での廃校を巡るツアー、小商いで暮らす人のツアーをインバウンド向けに実施、また、移住希望者向けツアー（山口市・県）も実施。				
今後の課題と展望	製品完成に向けた技術・ノウハウの蓄積と人材育成及びそのための地域連携と資金作り。				
団体からのメッセージ	地域でのサスティナブルなモノづくり、コトづくり、人づくりのデザインと実践を根強く、あきらめることなく、地道に時間をかけてじっくりと行っていきます。				